

(様式第4号)

上田市社会教育委員会 会議概要

1 審議会名	第10期第5回社会教育委員会
2 日時	令和7年8月25日 午後3時30分から午後5時25分まで
3 会場	市役所南庁舎 5階 S503 会議室
4 出席者	山崎順子委員（代表者代理）、小平千文委員、滝澤正幸委員、小林眞由美委員、手塚由花委員
5 市側出席者	酒井教育長、佐藤生涯学習・文化財課長、金田上田図書館長、井澤上田図書館長補佐、中村上田情報ライブラリー館長、横田生涯学習係長、荒井生涯学習係主事
6 公開・非公開	☒ 公開 ・ ☐ 一部公開 ・ ☐ 非公開
7 傍聴者	0人 記者 0人
8 会議概要作成年月日	令和7年9月3日
協 議 事 項 等	
1 開 会	
2 あいさつ（山崎代表者代理、酒井秀樹教育長）	
3 諮 問	
4 会議事項	
（1） 上田市図書館基本構想について	
・ 資料に沿い、金田上田図書館長から「上田市図書館基本構想策定の諮問について」、中村上田情報ライブラリー館長から「第三次上田市図書館基本構想（素案）」について説明	
（委 員） 第三次生涯学習基本構想も策定中だが、この第三次上田市図書館基本構想の内容を生涯学習基本構想に盛り込んでいくことは可能か。	
（事務局） それぞれの進行状況があるため、図書館基本構想について議論された後の内容を生涯学習基本構想に反映させることは難しいが、今回示された図書館基本構想の基本的な方向性等については、要素として盛り込んでいくことを検討したい。	
（委 員） 資料に読書バリアフリー法もあったが、上田市には点字図書館がある。社会教育施設ではなく福祉関係の施設ということで触れられていないのか。	
（事務局） 基本構想案の24ページ「(5) バリアフリーサービスの充実」のなかで上田点字図書館との連携について記載をしているが、上田図書館の立場として記載しており点字図書館側の立場まで反映させた内容にはなっていない。	
（委 員） 点字図書館はこの地域の特徴的な図書館だと思うので、広く市民に知っていただくような環境づくりも大事ではないかと考える。	
（委 員） 今回の10年間の基本構想では、上田図書館の改築については言及できないということか。現在の上田図書館の長所や短所を明確にして文章化することも考えられるのではないか。	
（事務局） 今回の基本構想では、上田市の図書館全体としての目指す方向性を示している。上田図書館の改築計画についてのみ深く記載していくことは量的にも難しく、仮に建設が決定したら、この目指す方向性を落とし込んだ計画を別途考えていく必要があると認識している。	
（委 員） 上田図書館の施設の現状には課題があるが、市内の他の図書館施設については今後10年については現状維持という考えということで良いか。	
（事務局） 図書館協議会のなかでは、施設整備の面で他の図書館について課題となるような議論はなかった。	
（委 員） 図書館の運営形態についてで、指定管理者制度について研究するとの記載があるが、あえて指定管理者制度について記載をしていく必要があるのか。	
（事務局） 第二次の図書館基本構想の策定時、図書館の運営方式として指定管理制度について研究した。他の自治体で指定管理者制度を導入している図書館もあり、そのこと自体を否定することでは	

きないが、研究の結果として上田市は直営という方向性になった経緯がある。今後上田図書館の改築を検討するなかで、施設が複合化となった場合に、施設全体として指定管理や業務委託等の方針が検討されることも考えられる。そのような場合に、図書館を直営で運営していくことができるかを含めて、研究という文言で記載をしている。

6 その他

- ・ 次回日程について

7 閉 会